



2018年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2017年 8月 7日
上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三影 晃
四半期報告書提出予定日 2017年 8月 10日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

TEL (03) 3212 - 7021

(百万円未満切捨て)

1. 2018年 3月期第1四半期の連結業績 (2017年 4月 1日 ~ 2017年 6月 30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年 3月期第1四半期	38,545	6.4	1,707	1.0	2,026	68.7	684	13.2
2017年 3月期第1四半期	36,235	14.0	1,690	27.3	1,201	43.0	788	47.6

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 1,327百万円(-%) 2017年3月期第1四半期 542百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益
2018年 3月期第1四半期	円 銭 1.69
2017年 3月期第1四半期	円 銭 1.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年 3月期第1四半期	212,014	78,870	36.3
2017年 3月期	208,034	79,584	37.3

(参考) 自己資本 2018年 3月期第1四半期 76,932百万円 2017年3月期 77,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		0.00		5.00	5.00
2018年3月期					
2018年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施いたします。これに伴い2018年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2018年 3月期の連結業績予想 (2017年 4月 1日 ~ 2018年 3月 31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,000	8.2	2,900	0.1	3,000	69.1	1,500	36.6	3.71
通期	160,000	6.8	7,000	6.9	7,000	2.8	4,500	5.8	111.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施いたします。これに伴い2018年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|---------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年 3月期1Q	404,455,680株	2017年 3月期	404,455,680株
期末自己株式数	2018年 3月期1Q	414,075株	2017年 3月期	412,928株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年 3月期1Q	404,041,813株	2017年 3月期1Q	404,055,279株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 株式併合後の配当及び業績予想について

当社は、2017年6月29日開催の第150回定時株主総会において、2017年10月1日を効力発生日とする当社普通株式10株につき1株の割合での株式併合、及び1,000株を100株とする単元株式数の変更を含む定款の一部変更が承認可決されております。これに伴い、株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

2018年3月期の配当予想			
1株当たり配当金(期末)	5円00銭		
2018年3月期の連結業績予想			
1株当たり純利益(第2四半期末)	3円71銭(期末)	11円13銭	

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
2018年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日～同年6月30日)の我が国経済は、景気は緩やかな回復基調が続き、企業収益は改善していますが、米国の金融政策正常化や中国をはじめとしたアジア新興国等の経済の不確実性による金融資本市場の変動の影響に注意を要する状況でした。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、385億45百万円(対前年同期比23億10百万円増)、営業利益は、17億7百万円(対前年同期比16百万円増)となりました。売上高は、主として、産業機械、ロックドリル、ユニックの機械事業と化成品部門で増収となり、営業利益は、主として、ユニック部門で増益となりましたが、金属部門は、買入条件の悪化により減益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、27億2百万円(対前年同期比2億67百万円増)、営業損失は、1億4百万円(対前年同期比1億87百万円の損失減)となりました。橋梁および東京外環自動車道(外環道)工事向けベルトコンベヤについて出来高に対応した売上を計上し、増収となりました。

ロックドリル部門の売上高は、72億95百万円(対前年同期比6億63百万円増)、営業利益は、3億50百万円(対前年同期比1億14百万円減)となりました。国内向けの売上高は前年同期並みとなりましたが、海外向けは、主に、景気の回復が着実に続く北米市場において油圧クローラドリルの出荷が増加し、増収となりました。

ユニック部門の売上高は、68億21百万円(対前年同期比9億82百万円増)、営業利益は、7億円(対前年同期比1億21百万円増)となりました。ユニッククレーンの搭載対象となる平ボディ車の登録台数は減少しましたが、本年9月実施予定の排ガス規制を主因とした需要増により、主力製品であるユニッククレーンの出荷が増加し、増収となりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、168億19百万円(対前年同期比19億14百万円増)、営業利益は、9億46百万円(対前年同期比1億93百万円増)となりました。

金属部門の売上高は、176億7百万円(対前年同期比33百万円増)、営業利益は、2億69百万円(対前年同期比3億27百万円減)となりました。電気鋼海外相場の上昇により、電気鋼の売上高は増収となりましたが、電気金は、販売数量の減少により減収となりました。

電子部門の売上高は、14億39百万円(対前年同期比22百万円増)、営業利益は、61百万円(対前年同期比49百万円増)となりました。主力の高純度金属ヒ素は、原発事故風評被害の影響で、いまだ苦戦が続いています。

化成品部門の売上高は、16億17百万円(対前年同期比2億78百万円増)、営業利益は、1億23百万円(対前年同期比92百万円増)となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要増があり、増収となりました。

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、206億64百万円(対前年同期比3億34百万円増)、営業利益は、4億54百万円(対前年同期比1億84百万円減)となりました。

不動産事業の売上高は、8億29百万円(対前年同期比41百万円増)、営業利益は、3億61百万円(対前年同期比15百万円増)となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)は、順調に稼働し、増収となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、為替差損益および持分法による投資損益の好転により、20億26百万円(対前年同期比8億25百万円増)となりました。特別損失にテナント退去補償関連費用10億41百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億84百万円(対前年同期比1億4百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,120億14百万円で前連結会計年度末に比べ39億79百万円増加しました。有利子負債(借入金)は、806億41百万円で前連結会計年度末に比べ71億34百万円増加しました。純資産は、788億70百万円で前連結会計年度末に比べ7億13百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2017年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,225	17,013
受取手形及び売掛金	26,755	26,595
商品及び製品	13,801	14,501
仕掛品	7,689	8,255
原材料及び貯蔵品	11,615	12,153
その他	6,693	4,331
貸倒引当金	△202	△195
流動資産合計	79,578	82,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,888	22,539
土地	54,987	54,979
その他(純額)	9,501	9,705
有形固定資産合計	87,377	87,223
無形固定資産	186	178
投資その他の資産		
投資有価証券	35,571	36,544
その他	5,905	5,996
貸倒引当金	△585	△582
投資その他の資産合計	40,891	41,958
固定資産合計	128,455	129,361
資産合計	208,034	212,014

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,064	9,546
電子記録債務	7,917	8,812
短期借入金	23,039	27,488
未払法人税等	709	282
引当金	1,325	1,484
その他	11,733	13,311
流動負債合計	59,790	60,926
固定負債		
長期借入金	50,467	53,153
引当金	674	1,502
退職給付に係る負債	6,533	6,437
資産除去債務	218	219
その他	10,766	10,905
固定負債合計	68,659	72,217
負債合計	128,450	133,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	35,748	34,413
自己株式	△66	△66
株主資本合計	63,890	62,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,758	12,631
繰延ヘッジ損益	105	56
土地再評価差額金	3,536	3,535
為替換算調整勘定	159	△130
退職給付に係る調整累計額	△1,791	△1,715
その他の包括利益累計額合計	13,768	14,377
非支配株主持分	1,925	1,938
純資産合計	79,584	78,870
負債純資産合計	208,034	212,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	36,235	38,545
売上原価	30,458	32,641
売上総利益	5,777	5,904
販売費及び一般管理費	4,086	4,197
営業利益	1,690	1,707
営業外収益		
受取配当金	269	315
その他	131	358
営業外収益合計	401	673
営業外費用		
支払利息	177	158
休鉱山管理費	139	134
為替差損	430	—
その他	142	60
営業外費用合計	890	353
経常利益	1,201	2,026
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	0	4
特別利益合計	3	7
特別損失		
テナント退去補償関連費用	—	1,041
その他	4	29
特別損失合計	4	1,071
税金等調整前四半期純利益	1,200	963
法人税、住民税及び事業税	267	346
法人税等調整額	103	△107
法人税等合計	371	239
四半期純利益	829	724
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	788	684

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	829	724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,015	872
繰延ヘッジ損益	2	△31
為替換算調整勘定	△509	△237
退職給付に係る調整額	141	76
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△76
その他の包括利益合計	△1,372	603
四半期包括利益	△542	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△562	1,294
非支配株主に係る四半期包括利益	20	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日 至2016年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,435	6,631	5,838	17,573	1,416	1,339
セグメント間の 内部売上高又は振替高	598	13	35	51	5	13
計	3,033	6,644	5,873	17,624	1,421	1,353
セグメント利益又は損失 (△)	△291	465	579	596	11	31

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	787	36,023	211	36,235	—	36,235
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33	749	359	1,109	△1,109	—
計	821	36,773	571	37,344	△1,109	36,235
セグメント利益又は損失 (△)	346	1,738	△48	1,690	0	1,690

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,702	7,295	6,821	17,607	1,439	1,617
セグメント間の 内部売上高又は振替高	722	21	28	57	0	13
計	3,425	7,316	6,850	17,664	1,439	1,631
セグメント利益又は損失 (△)	△104	350	700	269	61	123

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	829	38,314	231	38,545	—	38,545
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32	875	371	1,247	△1,247	—
計	862	39,190	602	39,793	△1,247	38,545
セグメント利益又は損失 (△)	361	1,762	△36	1,726	△19	1,707

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

			対前年同期増減
銅価	第1四半期決算	\$/mt	933
	第2四半期累計予想	\$/mt	748
	年度予想	\$/mt	346
為替	第1四半期決算	円/\$	2.8
	第2四半期累計予想	円/\$	4.7
	年度予想	円/\$	1.6

2018年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2017年8月7日
古河機械金属株式会社

(売上高) (単位:百万円 単位未満切捨て)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	14,905	16,819	1,914
産業機械部門	2,435	2,702	267
ロックドリル部門	6,631	7,295	663
ユニック部門	5,838	6,821	982
素材事業	20,330	20,664	334
金属部門	17,573	17,607	33
電子部門	1,416	1,439	22
化成品部門	1,339	1,617	278
不動産事業	787	829	41
その他	211	231	19
【合計】	36,235	38,545	2,310

2018年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
34,700	3,683	73,900	7,096
6,100	622	20,000	5,958
15,300	2,211	27,500	520
13,300	849	26,400	617
39,300	2,096	82,000	3,031
33,400	1,563	70,500	2,646
2,900	85	5,900	83
3,000	446	5,600	301
1,500	45	3,000	74
500	45	1,100	116
76,000	5,779	160,000	10,170

(営業利益)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	753	946	193
産業機械部門	291	104	187
ロックドリル部門	465	350	114
ユニック部門	579	700	121
素材事業	639	454	184
金属部門	596	269	327
電子部門	11	61	49
化成品部門	31	123	92
不動産事業	346	361	15
その他	48	36	11
(計)	1,690	1,726	35
調整額	0	19	19
【合計】	1,690	1,707	16

2018年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
1,850	370	4,950	1,369
100	268	1,250	1,145
550	62	1,000	102
1,400	164	2,700	121
520	336	1,000	870
300	542	700	1,038
0	5	50	32
220	211	250	135
630	24	1,200	65
80	13	80	46
2,920	4	7,070	479
20	6	70	25
2,900	1	7,000	454